



新たな出会い、新たな思い

広野小学校PTA 西中 美保さん

優しさに支えられて



北海道で生まれ育った私が、縁あって三田市で暮らすようになってもう16年になります。聞きなれない関西弁も景色も最初はすべてが物珍しく思えました。小柿で乱舞する蛍や、テレビでしか見たことがなかったカマキリを庭先で見つけた時はとても感動しました。梅雨の湿度も夏の暑さも初めての経験で、今でもこの季節が近づくと少し憂鬱になります。それでも毎日が新しい発見の連続で新鮮でした。

三田市で暮らし始めた当初は、周りに知り合いが一人もおらず寂しさを感じていましたが、子どもを通して生活に変化がおとずれます。育児サークルや地域の行事への参加をきっかけに少しずつ世界が広がっていききました。子どもが幼稚園や小学校に進むと、行事やPTA活動を通してさらに広がります。長女が幼稚園に入園したのは、下の子がまだ生まれて間もない頃でした。なかなか思うように役員や行事などに協力出

来なく申し訳なく思っていた時に、あるお母さんがこんな言葉をかけて下さいました。
「そう思うなら下の子が入園した時、今度は西中さんが誰かを助けてあげたらいいんじゃないか？だから今は甘えていいと思うよ」

今思えば初めての子どもへの入園で、不安でいっぱいだった私は、必要以上に気負っていたのかも知れません。この言葉をかけてもらった時、スッと肩の力が抜けたような気がしました。この時から、私のPTA活動への関わり方が決まったような気がします。大変な時は無理をせず一人で抱え込まず周りの人に頼る。その代わり自分が協力出来る時は積極的に参加する。慣れない土地での生活でしたが、さまざまな方に助けていただき声をかけてもらったおかげで今があると思っています。

人権を身近に感じて

今年度、私は広野小学校PTAの同推部に所属しています。同推部の活動内容は、近隣の学校や地域の方々と共に、さまざまな角度から広く人権について学ぼうというもの

です。活動を通して、今まで日常ではあまり気にすることがなかった「人権」について、よく考えるようになりました。

同推部では、学校で実施される人権参観日に合わせてさまざまな活動をしてきました。人権参観日は、我が子の知らない一面に触れることが出来るので毎年楽しみにしています。参観日での子どもへの意見が、その夜の我が家の話題にのぼることもありません。普段はなかなか話すことのない人権について、家族の考えを知る良いきっかけとなっています。

今年度はコロナ禍での行事の見直しがあり、残念ながら人権参観日は行われません。私たちの部会では、今までは違おう形でPTAの皆さんに何か発信できればと思っています。

多様な生き方を 知ることから始まる

差別や人権侵害はなぜ生まれるのでしょうか。そこには多様性を認める心や想像力の欠如があるように思います。多様性を認めなければさまざまな衝突が生まれます。また、目に見えるものだけを捉え、その後ろにある複雑な背景を想像せず、安易に発言すると自分が思っている以上に相手を傷つけてしまいます。昨今はSNSなどで気軽に発信できるからこそ、今まで以上に多様性を認め想像力を働かせることが必要だと思えます。

今、世界中で人権に関するさまざまな問題が起きています。コロナ禍で起きていたさまざまな差別や嫌がらせ、SNSでの誹謗中傷が原因と思われる自殺、また米国の人種問題などが毎日のように報道されています。

それらの問題について、別世界で起きているように感じているニューズも、多様な生き方を知り理解を深めること、そして想像力をはたらかせることで、実はとても身近で誰にでも起こり得る出来事だと気付かされることがあります。私の場合、同推部に入ってからさまざまな研修会に参加することで、まだまだ知らなかったことがたくさんあると感じました。

学校ではさまざまな形で人権について学習する機会がありますが、家庭でも日頃から身近な出来事やニュースを親子で話し合っていきたいと思っています。

令和元年度 三田市人権を考える会
ラブピース4コマまんがコンテスト
優秀賞作品

「一人じゃないよ」

あかしあ台小学校6年(前年度)
古場 聖乃 さん



「人権さんだ」が新しくなります！

「人権さんだ」は、1月から毎月1日発行で4ページ構成となり、市広報誌の中央に挟み込まれます。引き続き、人権にかかる啓発誌として、市民の皆さまと共に住みよい三田市になるよう、取り組みを進めてまいります。

北朝鮮人権侵害問題啓発週間

12月10日～12月16日

拉致被害者の一日も早い帰国をめざし、取り組みが進められています。拉致問題の解決のためには、一人一人の強い思いが必要です。拉致問題やその他北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めていきましょう。

- ◆拉致問題対策本部ホームページ <http://www.rachi.go.jp/>
- ◆法務省ホームページ <http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken103.html>
- ◆人権ライブラリーホームページ <http://www.jinken-library.jp/>

兵庫県警では、北朝鮮による拉致被害者に関する情報や、「拉致の可能性を排除できない行方不明者」の人々に関する情報を求めています。心当たりのある人は、下記まで情報をお寄せください。

兵庫県警察本部外事課 代表：078-341-7441
三田警察署警備課 代表：079-563-0110
FAX：079-562-0110

